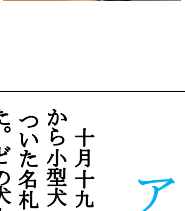



大貫藤子様




木村友子様(長女)




(NO.364)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

母と言うと、キビキビと働く姿が一番に思い浮かびます。
自宅隣の工場で製造業を営んでいましたが、朝は食事の支度にはじまり、掃除・洗濯・子供達を学校に送り出し、仕事。夕食後は、夜遅くまでまた仕事。休日も、掃除や買い物と家族の為に動き回っていました。
唯一、時代劇が好きで、父と「一緒にゆったり楽しめる時間の様でした。また若い頃から石原裕次郎さんのファンだったそうです。
料理の時は、子供番組の主題歌や、流行歌を鼻歌まじりに楽しくおおい作ってくれました。
日々忙しにも、遊園地やプール、海、山など、家族旅行にも沢山連れて行ってもらっていました。母は、愛情深くあたたかく、その愛のおかげで現在も家族があるんだなあと強く感じさせられます。
お世話になって4ヶ月。笑顔も増えました。これからも皆様とにぎやかに過ごして下さい。



笑って楽しくつながって



施設長 小川内秀樹

十月中旬の日曜日、石下城が青空の中にそびえて見える総合福祉センターにて、ふくし祭りが行われました。常総市社会福祉協議会を中心に行われるこの行事には、市内のボランティア団体や福祉施設の二十八団体に参加。高校生を含めて二十五名の学生ボランティアの団体が協力して頂きました。特養とデイサービスからは、ホットドッグやご利用者の作品販売を行い、リハビリマシンの体験を企画しました。大人よりも子供や学生の方にも興味を持って頂き、作業療法士と理学療法士から丁寧な説明を行って好評だったと思います。高校生や看護学生によるボランティアさんに、単なる作業ではなく、福祉への理解を深めて頂く為に接点を持つて頂く事を、ひとつのねらいとしましたが、朝の準備から片付けまで積極的に動いていた姿に、こちらが励まされました。ステージ発表では、高校生の合唱とサクソスのソロ演奏に、想像以上の雰囲気の良いさと、一体感を感じることができました。地域のふくし団体のつながる力は、小さな一歩ですが、そこまでに至る数ヶ月に渡る五回の委員会の中で養われていくように感じました。
係りをしていた学生さんの、さりげない友達との会話で、おもしろい祭りって楽しだね。」との言葉を耳にした時に、ほっとした気持ちになりました。




似合うでしょ！




イースに到着！

十月二十六日、ご利用者3名と買い物外出と題して、うくばイースへ行ってきました。
到着してすぐお昼ご飯を食べました。3名とも自分が好きな料理を頼み、お腹いっぱい召し上がられていました。食ベすぎてしまう方もおりましたが、全員満足しました。
午後は買い物の時間をもちました。自分の為に買う方、お孫さんへのプレゼント、皆さん久しぶりの買い物を迷いながらも楽しんでいました。
天気は曇っていましたが、ご利用者様も職員も心から楽しむことができました。これからもご利用者様と様々な交流ができる事を願っています。



かわいいね



かわいいね

十月十九日(金) つくば国際ペット専門学校から大型犬から小型犬の計十八匹が来しました。首元には各々の名前がついた名札を下げ学生さんと共に一匹ずつ紹介されました。どの犬も愛嬌があり、合図に合わせて跳んだり、輪を潜ったりと芸を披露していました。
芸を披露する度に、利用者様から大きな歓声が上がりました。芸を披露した後は、一匹ずつ利用者様のもとに近寄り触れ合う機会が持てました。H様は、じっと犬を見つめていましたが、犬が近づいてくると、自ら手を伸ばし笑顔で顔を何度か撫でていました。もう一人のH様は犬が紹介されるたびに「かわいいね、かわいいね」と普段は見せない笑みを浮かべていました。
毎年、つくば国際ペット専門学校から多くの犬が来てくれていて、犬には、人にはできない癒しと家族のような安心感があると改めて感じた機会でした。



クリスマスツリー

日時
★十二月二十二日 土
★十二時三十分 受付開始
場所
食堂ホール
★食卓会
★クリスマス礼拝
★アトラクション
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

相談員日誌
「道標」
宮本 真次

相談員として六年半が経過した。
これまで、日々の働きの中で最善を尽くしてもそれに相反し、思うようにはならず、予想だにしない結果となり、悔しいが残った事も少なくない。
そんな中、この言葉と出会い心に響いた。
大生は順調に成功していきばかりではありませぬ。成功は人間の表面を飾ります。失敗は内面を豊かにします。人間の成長の為に失敗は有意義な事です。失敗には成功に劣らぬ報酬があります。失敗を恐れて何もしないでは生半端な失敗ばかりになります。サッカード日本代表長友佑都への祖母からの手紙
悔いを悔いで終わらせることなく、今後の道標となる。枕として活かせる様、これからも心を柔らかく、苦しさを嬉しさに変えるチャレンジを続けようと思う。

中月

一日	聖餐式
二日	ジャズシン・理美容サービス
三日	ケーキカフェ
四日	大生屋出張販売
五日	消防訓練
六日	書道クラブ
七日	リンデン理美容サービス
八日	バス
九日	ふかし芋
十日	柚子湯
十一日	神遊び
十二日	聖餐式
十三日	もちつき
十四日	大生屋販売
十五日	ジャズシン・理美容サービス
十六日	書道クラブ
十七日	リンデン理美容サービス
十八日	バス
十九日	ふかし芋
二十日	柚子湯
二十一日	神遊び
二十二日	聖餐式
二十三日	もちつき
二十四日	大生屋販売
二十五日	ジャズシン・理美容サービス
二十六日	書道クラブ
二十七日	リンデン理美容サービス
二十八日	バス
二十九日	ふかし芋
三十日	柚子湯

十一月のお誕生者

小野裕子様	昭和七年	十一月一日	八十六歳
杉山法子様	昭和二十年	十一月七日	七十三歳
田中道代様	昭和二十年	十一月七日	七十三歳
大野孝子様	大正十三年	十一月十日	九十四歳
浜田トキ様	昭和八年	十一月二十七日	八十五歳

お誕生日おめでとございます。

一人一人の故郷

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

徐々に色づいていく紅葉を見てみると、今は亡き姉と見た十和田湖を思い出します。雪井の滝から白糸の滝、十和田湖を眺めながら、その美しさに唯々感動、誰がこんなに美しくするの...等と笑いがあふれ、姉と姉に乙女像の像に向かって歩いたこと、昨日のようです。年齢を重ねると故郷が懐かしくなります。ヘルパーをしている時、夜Kさんの側にいくと、信州信濃の新橋妻よりわたくしあやのの傍がいーと指さし笑っていました。Kさんの生まれは長野の安曇野、認知症になっても故郷はしっかりと心の中にあります。特養のご利用者さん一人一人に故郷があり、昔の事はしっかりと覚えていて、時にはバツクリする事もあります。ご利用者さんの言葉に癒されます。朝の礼拝が終わる、そつと耳を押しながらお部屋まで行くこと、どこから来たの?、あんな誰?等同じことの繰り返しです。傍で優しく対応しているヘルパーさんを見ていて本当に頭が下がります。このヘルパーさん達も倒れないように、いつまでも頭が下がりませんように祈ります。